

## 新任者(新任校長)雑感

題名「地域があって子どもがいて、そして学校がある。常に謙虚な気持ちで!」

都農町立都農東小学校内野々分校 校長 疋田 雅樹

内野々分校は、10号線沿いにある都農東小学校から車で5分ほど西側にある児童数11名(1年生:7名、3年生:2名、4年生:2名、3・4年生が複式)の学校である。

4月に分校の校区を歩いてみた。さやえんどうを育てている方がおり、「私も卒業生、そして子どもも卒業生。本当にいい学校ですよ。」と明るい声で、しかも幸せそうな表情で話をされた。保護者の中にも分校出身の方がたくさんいらっしゃるって、様々な行事等で話を聞けば聞くほど、分校に対する熱い思いがビンビンと伝わってくる。また、運動場には内野々分校を卒業した多くの子どもたちを温かく見守ってきた大きな木が二本、入口にそびえたっており、圧倒的な存在感をみせている。

本年度は、嬉しいことに新生児が7名(昨年度は0名)おり、新聞にも掲載されて、子どもたちの笑顔いっぱいの写真を掲載していただいた。その新聞掲載を見られた63年前に分校で5年間教諭として働いていた方が分校を応援する記事を新聞に投稿され、その方との交流が始まった。

9月の参観日にご招待し、授業の感想等もいただいた。60年近く前の分校の写真も見せていただき、124名の児童が活躍していたこと、運動会も盛大で地域と一緒に一体的に行っていたこと、道路の整備がなされていなかったことから歩いて遠足や交流学习に行っていたことなどを笑顔で話してくださった。「地域の方々の力強い支えがあってこそ学校運営がうまくいっていた。地域の方に心から感謝している。」という言葉が強く印象に残った。

地域や保護者のみならず、以前教鞭をとられた方と話ができたことで、地域との強い結びつき、当時の様子や思い、教職員の一体感を感じ、内野々分校の並々ならぬ地域力等を再認識し、本当に感激したところである。

長い月日の中で多くの子どもたちを見守り、育て、そして多くの卒業生がいて、その子どもたちが大人になり、実際に現在の保護者として戻ってくる。そんな時間の流れを考え、地域や保護者、今まで築き上げてこられた様々な方々のご尽力に思いを馳せると、自分自身の気持ち、そして魂が引き締まってくる思いである。今までの流れをしっかりと受けとめ、確実に教育活動をつないでいくためにも謙虚な気持ちを忘れず、真のワンチーム都農東小学校内野々分校となれるように努力し続けていきたい。